

## 和歌山県医務課

# 和歌山県こども救急相談ダイヤル #8000

## 令和7年度実績

### ■ 事業概要

夜間・休日にこどもが急病になったとき、すぐに病院に行った方がいいのか、それとも様子を見て大丈夫か、看護師（必要に応じて医師）が相談に応じます。

### ■ 相談時間

- 平日…19時～翌朝9時
- 土日祝・年末年始（12/29～1/3）…9時～翌朝9時

### ■ 電話番号

- #8000（プッシュ回線・携帯電話）
- 073-431-8000（ダイヤル回線・IP電話）

### ■ 補足

このダイヤルは、あくまで保護者の方々に助言を行うものであり、診断・治療や医療機関の紹介を行うものではありません。

医療機関の紹介は、「和歌山県救急医療情報センター」で行っています。

《和歌山県救急医療情報センター》

受診可能な医療機関を24時間体制で案内しています。

TEL:073-426-1199（いい救急）

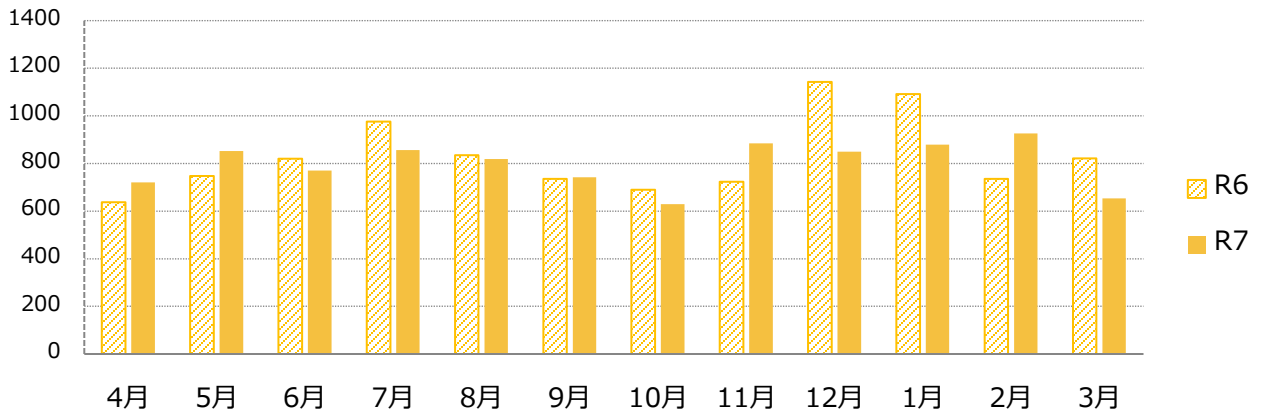
# 1 相談件数

令和7年度は、累計9,583件の相談がありました。

月別では、2月が最も多く、次いで11月、1月の順で相談が多くなっています。

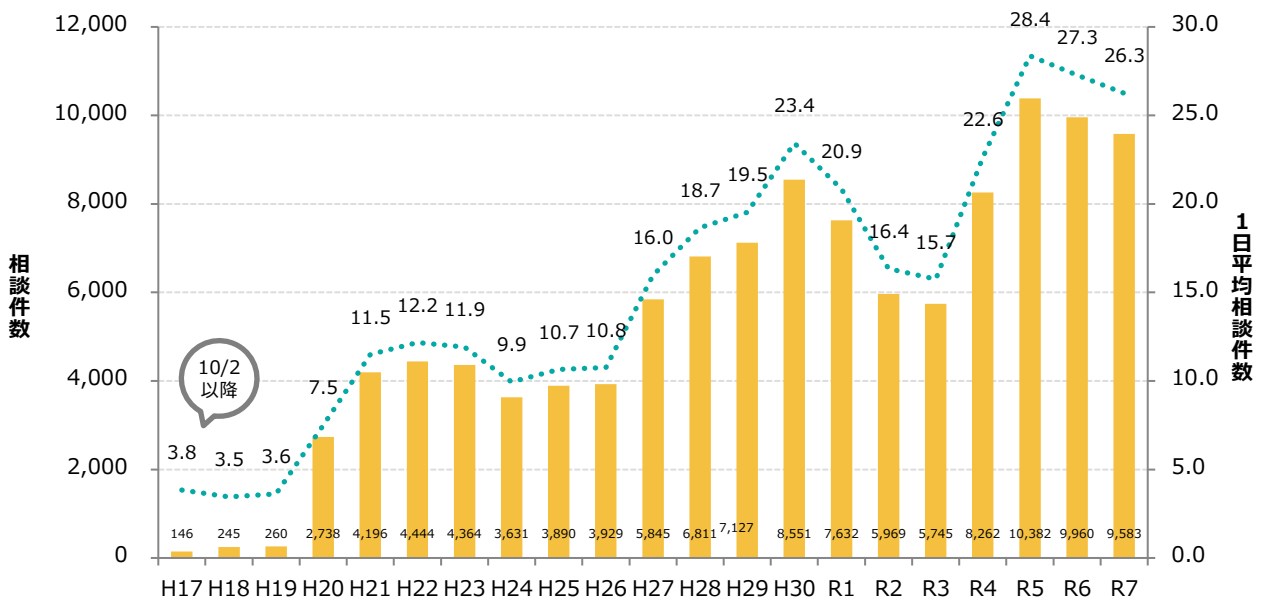
また、例年相談の多い冬期においては特に利用件数の増加が見られました。

令和7年度累計	9,583件
---------	--------



# 2 相談件数の推移

令和4年度以降は増加傾向にありましたが、令和7年度についてはやや減少しました。



相談  
実施日

日祝・年末年始：  
19時～23時

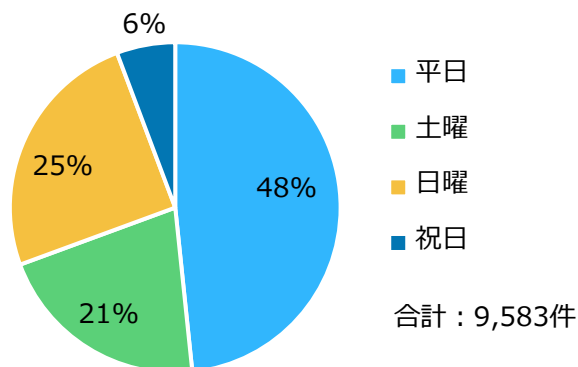
H20～相談日拡大  
毎日：19時～23時

H27～時間拡大  
平日：19時～23時  
土日祝・年末年始：  
9時～23時

H30～時間拡大  
平日：19時～翌9時  
土日祝・年末年始：  
9時～翌9時

### 3 曜日別の相談比率

土日祝日の相談が5割以上を占め、ニーズが高い傾向にあります。



### 4 時間帯別の相談比率

19時～21時の相談が最も多く、全体の約3割を占めています。

昨年度と比較して、平成30年度から延長実施した相談時間帯（23時～9時）の利用割合と従来から実施していた時間帯の利用割合は同程度となっています。

令和7年度

①従来から実施していた時間帯			②H30から延長実施した時間帯		
相談時間帯	件数	割合	相談時間帯	件数	割合
9時～11時	471	4.9%	23時～1時	795	8.3%
11時～13時	382	4.0%	1時～3時	514	5.4%
13時～15時	524	5.5%	3時～5時	303	3.2%
15時～17時	596	6.2%	5時～7時	300	3.1%
17時～19時	856	8.9%	7時～9時	645	6.7%
19時～21時	2,621	27.4%			
21時～23時	1,576	16.4%			
<b>小計</b>	<b>7,026</b>	<b>73.3%</b>	<b>小計</b>	<b>2,557</b>	<b>26.9%</b>
<b>①・②の合計：9,583件</b>					

(参考) 令和6年度

①の小計	7,340	73.7%	②の小計	2,620	26.3%
<b>①・②の合計：9,960件</b>					

## 5 相談時間別の比率

1回あたりの相談時間は、  
88.6%が「10分未満」です。

相談時間	件数	割合
0～5分未満	2,632	27.5%
5～10分未満	5,854	61.1%
10～15分未満	963	10.0%
15～20分未満	111	1.2%
20分以上	23	0.2%
<b>合計</b>	<b>9,583</b>	

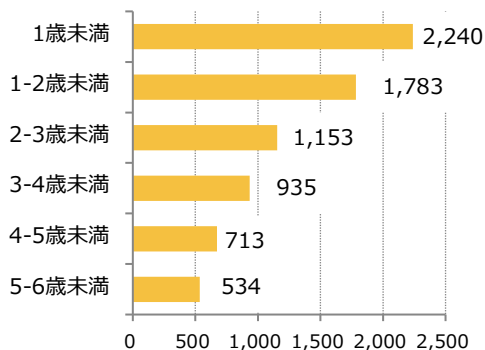
## 6 相談対象者の年齢構成

相談対象者の約8割は6歳未満の乳幼児です。  
とりわけ、0～2歳未満の乳幼児に関する相談が多く見られました。

年齢	件数	割合
0～6歳未満	7,358	76.8%
6～12歳未満	1,711	17.9%
12～15歳未満	320	3.3%
その他	194	2.0%
<b>合計</b>	<b>9,583</b>	

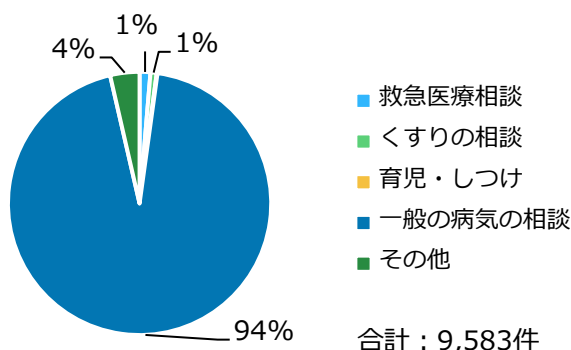


乳幼児の年齢別件数



## 7 項目別の相談内容

一般の病気の相談が殆どでしたが、  
救急医療相談、くすりの相談、育  
児・しつけも寄せられています。



## 8 症状別の相談内容

発熱による相談が2,772件（28.9%）と最も多くなりました。続いて嘔気・嘔吐976件（10.2%）、頭部打撲879件（9.2%）となりました。

症状	件数	割合
発熱	2,772	28.9%
嘔気・嘔吐	976	10.2%
咳嗽・喘鳴	596	6.2%
頭部打撲	879	9.2%
発疹（じんましん）	579	6.0%
頭部以外の外傷	717	7.5%
腹痛	314	3.3%
鼻水・鼻づまり	66	0.7%
耳・鼻・喉の異常	320	3.3%
下痢	128	1.3%
異物誤飲	491	5.1%
歯・口腔の異常	199	2.1%
頭痛	143	1.5%

症状	件数	割合
啼泣・なきやまない	194	2.0%
便の異常（血便・便秘）	174	1.8%
目の異常	183	1.9%
けいれん・ふるえ	142	1.5%
薬	56	0.6%
尿の異常	103	1.1%
熱傷	113	1.2%
予防接種	13	0.1%
耳漏	13	0.1%
その他	412	4.3%
<b>合計(※)</b>	<b>9,583</b>	

## 9 対応内容

すぐに医療機関をすすめた件数が最も多くなり、次いで、翌日の医療機関をすすめた件数が多くなっています。

また、中には、119番をすすめる事例も発生しています。

対応	件数	割合
119番をすすめた	133	1.4%
すぐに医療機関をすすめた	2,948	30.8%
翌日の医療機関をすすめた	1,122	11.7%
何かあれば受診することをすすめた	5,151	53.8%
一般的な保健指導・育児相談	0	0.0%
その他	229	2.4%
<b>合計</b>	<b>9,583</b>	

## 10 相談者の居住地別の利用状況

和歌山エリア（和歌山市、海南市、紀美野町）からのご利用が約半数を占めています。

一方、紀南地方での利用が比較的少なく、地域によってニーズの差があると考えられます。

